

# 「アマテラスとスサノオ の戦い」



記憶の過去  
と学び

## 子どもと親の神話 子どもと親の拍手塾 カムスホール

「スサノオ、なぜあなたは私の弟なの。もう我慢できない。小さい時から、お母さん、お母さんといって泣きわめき、お父様や周りの人を困らせ、私だってお母さんが恋しいのに、自分のことだけを主張する。みんなも、呆れて、あなたをほったらかしにしているのは、父君のイザナギや、私アマテラスに氣遣って何も言わないだけに、恥ずかしくてたまらない。」

なに？スサノオが私の処へ駆け昇ってきている？いよいよ私に戦いを挑んできたに違いない。」  
アマテラスは、弟のスサノオが戦いを挑んできたに違いないと思いついた。くくっている髪をぼつさりほどき、鉢巻をして鎧を付け、500本以上の槍を背中に背負い、腕には鉄を巻き付け、椅子に座って男のように足を開いて身構えしていた。

「お姉様、アマテラス様、喜んで下さい。父君が私に、母のいる黄泉の国へ行けとおっしゃってくれました。やっと愛しい母イザナミノミコトに会う事を許してくれました。この喜びを親愛なるアマテラスに真っ先にお知らせしたかったから、飛んで参りました。お姉様本当にうれしいです。」

スサノオが、アマテラスの側に近寄ろうとしたときに、姉は毅然として

「真実かどうかを試す方法がある。私の言う事を聞きなさい。あなたが持ってきた剣を抜いて私に渡しなさい。そして私が首にかけている勾玉をおまえに渡します。私が剣を噛み砕きましょう。あなたはわたしの勾玉を噛み砕きなさい。女の神々が出てきたら私の勝ちです。男の神々が出てきたら、あなたの負けです。いざ、勝負。」

アマテラスは、スサノオの剣を噛み砕きました。小さな小さな塊の粒になり、空高く舞散りました。どんどん渦を巻き、五つの惑星が生まれました。

次にスサノオは、勾玉を噛み砕き、天に向かって投げました。三つの輝かしい惑星が生まれました。八つの惑星は、空高く舞い上がり、固まりながら大きな大きな星になっていきました。

「お姉さま私の勝ちです。私の噛み砕いた玉から、三人の女神が生まれました。あなたの噛み砕いた剣からは五人の男の神が生まれました。」と勝ち誇ったように、大声で叫びました。

周りの神々は、驚きざわめきました。

「私が渡した勾玉から女の神が生れたんだから、私の勝ちです。」アマテラスはもっと大きな声で叫びました。天地が揺るぎ、凄い音となり、あたりに響き渡りました。

「お姉様、それはずるいです。噛み砕いたのは私です。私が噛み砕いたから女の神が出たのです。」アマテラスは、真っ赤に燃え盛り、怒りを表しました。

二人の睨み合いが続きました。この戦いのありさまは太陽系の惑星、水金地火木土天海の出来た有

様をおもしろく伝えていくんですよ。鉄のコアを持った、惑星の五つは、地球のような惑星を言います。勾玉のような、ガスで出来た惑星の出来方を、みんなに古代の人達は智慧を絞って伝えていきます。

しばらくすると、あたりは静かになり、八百万やおよろずの神々も二人の神々も、何かに吸い込まれる様な気がした。どこからともなく、宇宙をつくった天祖あまつみおやが姿の無い姿をあらわしました。

「善と悪があつて、はじめてお互いが理解できるのだ。おまえ達のように、自分が正しい。自分が正しいと思ふ事は、相手と仲良くはできない。」

賢いアマテラスよ。おまえは確かに素晴らしい光輝く私の自慢の神である。しかし、自分の正しいことばかりを主張すれば、まわりが暗くなる。あなたの光は、照らせるものがあるから光るのです。何も無い時には、あなたの光は、どれも照らす事ができません。宇宙が、真っ暗なのは、そのことを示しています。太陽の周りをまわっている惑星達があるので、アマテラスの光が反射しています。このことを君たちしつかり覚えておくと思います。みんなのお陰であなたの存在が輝くんですよ。アマテラス、賢いあなたはそのことを気付かないといけない。

スサノオよ、おまえはやんちゃな神であるけれども、私にとって大切な可愛い神である。これから仲良くするために、あなたはアマテラスの周りをいつもいつも手をつないで回っていなさい。」

一瞬全てが静止した。そして、天祖あまつみおやは、宇宙の外の境界線にお戻りになりました。

その手が引力になりました。もちろん地球も全ての惑星も重力があります。一番大きな重力は太陽が持っています。だから、太陽とそれぞれの惑星は、決まった距離をもって動いています。そういう関係が、いつまでも、何十億年も続く力となってバランスを保っています。

今後まだ、そのバランスは五十億年ほど続くと言われています。

その結びつきが、バランスをつくっています。バランスがあるから、規則正しく繋がっているのです。

この戦いは、仲直りがバランスという調和をつくっています。昔々の人々は、僕たちや君たちに教えてくれているんですよ。いつもそれを、何十億年も掛かって毎日毎日教えてくれているのです。だから、私たちは、地球上で幸せに暮らす事ができることを感謝して仲良くしないといけないね。